

解禁

新聞

令和6年11月28日(木)付 朝刊以降

ラジオ・テレビ・インターネット

令和6年11月27日(水)

17時以降

お知らせ

令和6年11月27日

課名	統計分析課 (経済統計班)	教育庁保健体育課 (健康・安全教育班)
担当	渡辺、寺見	松村、井上
連絡先	(調査及び統計数値) 内線 2132 直通 (086) 226-7261	(左記以外教育一般施策) 内線 4948、4949 直通 (086) 226-7591

令和5年度岡山県学校保健統計調査報告書の公表について

岡山県学校保健統計調査報告書(以下「報告書」といいます。)は、国の基幹統計調査である学校保健統計調査の結果を踏まえ、県民の方により分かりやすく情報を提供することを目的に県で独自に作成し、公表しております。

このたび、令和5年度報告書を作成しましたので、お知らせします。

なお、令和6年度報告書につきましては、令和7年2月頃に公表する予定です。

1 調査結果の要旨(報告書 P2, 4, 13)

- ① 身長は、全国平均値と比較して、男子、女子とも全ての年齢で下回っている。
- ② 体重は、全国平均値と比較して、男子、女子ともほとんどの年齢で下回っている。
- ③ 裸眼視力1.0未満の者の割合は、年齢が高くなるにつれて増加傾向となる一方、前年度と比較して、幼稚園、小学校、中学校、高等学校いずれも下回っている。
- ④ むし歯の被患率は、全国平均値と比較して、幼稚園、小学校、中学校、高等学校いずれも下回っている。

2 報告書の概要

(1) 発育状態

① 概要(報告書 P2, 4, 8, 9)

- ・身長の平均の推移は、親世代以降横ばい傾向である。
なお、前年度と比較して、半数程度の年齢で上回っている。また、全国平均値と比較して、全ての年齢で下回っている。
- ・体重の平均の推移は、身長と同じ傾向となっている。
なお、前年度と比較して、半数程度の年齢で上回っている。また、全国平均値と比較して、男子で、7歳以外、女子は、6歳、10歳、13歳以外の全ての年齢で下回っている。
- ・肥満傾向児の割合は、男子で、9歳、17歳、女子は、5歳、6歳、10歳、12歳、13歳、15歳、17歳で前年度及び全国平均値を上回っている。
- ・痩身傾向児の割合は、男子で、6歳、8歳、10歳、11歳、17歳、女子は、6歳、14歳で前年度及び全国平均値を上回っている。

② 調査項目別（報告書 P2, 4, 30-37）

ア 身長

- ・全国比較：男子は、全ての年齢で下回っている。
女子は、全ての年齢で下回っている。
- ・親世代比較：男子は、5歳、6歳で同じ、16歳で下回り、他の年齢で上回っている。
女子は、8歳で同じ、14歳、15歳、16歳、17歳で下回り、他の年齢で上回っている。
- ・男子では、10歳、12歳、13歳、14歳、女子では、10歳で過去最高値となった。

イ 体重

- ・全国比較：男子は、7歳で同じ、他の年齢で下回っている。
女子は、5歳、7歳、8歳、9歳、11歳、12歳、14歳、15歳、16歳、17歳で下回り、他の年齢で上回っている。
- ・親世代比較：男子は、5歳、15歳、16歳、17歳で下回り、他の年齢で上回っている。
女子は、5歳で同じ、14歳、15歳、16歳、17歳で下回り、他の年齢で上回っている。
- ・男子では、9歳、12歳、女子では、6歳、9歳、10歳、13歳で過去最高値となった。

（2）健康状態

① 概要（報告書 P10-13, 40-43）

- ・むし歯（う歯）の者の割合は、昭和57年頃から減少傾向にあり、中学校は過去2番目、幼稚園、小学校、高等学校では過去1番目に小さい値となっている。
- ・アトピー性皮膚炎の被患率は、いずれも全国平均値を上回っている。
- ・ぜん息の被患率は、幼稚園を除き全国平均値を上回っている。また、親世代と比較して、被患率が2倍程度となっている。
- ・裸眼視力1.0未満の者の割合は、年齢が高くなるにつれて増加傾向となっており、小学校、中学校、高等学校では、過去3番目に大きい値となっている。

② 調査項目別（報告書 P10-13）

ア むし歯の被患率

- ・前年度比較：幼稚園、小学校、高等学校で下回り、中学校で上回っている。
- ・全国比較：幼稚園、小学校、中学校、高等学校いずれも下回っている。

イ アトピー性皮膚炎の被患率

- ・前年度比較：幼稚園で同じ、小学校、中学校、高等学校で上回っている。
- ・全国比較：幼稚園、小学校、中学校、高等学校いずれも上回っている。

ウ ぜん息の被患率

- ・前年度比較：幼稚園で下回り、小学校、中学校、高等学校で上回っている。
- ・全国比較：幼稚園で下回り、小学校、中学校、高等学校で上回っている。

エ 裸眼視力1.0未満の者の割合

- ・前年度比較：幼稚園、小学校、中学校、高等学校いずれも下回っている。
- ・全国比較：中学校で同じ、幼稚園、小学校で下回り、高等学校で上回っている。

3 学校保健統計調査の概要（参考）

（1）調査対象

調査実施校に在籍する満5歳から17歳までの幼児、児童及び生徒の一部

（2）調査方法

文部科学大臣が指定した県内162校（園）の抽出調査

※調査実施校は毎年見直しを行っている。また、発育状態は調査実施校の各学年に在籍する者のうち13,482人を、健康状態は全員を対象に調査を実施している。

（3）調査時期

令和5年4月から令和6年3月の間に実施

※例年は4月から6月の間に実施しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度から令和5年度は、調査時期が年度末まで延長となった。このため本集計結果は、成長の著しい時期において測定時期を異にしたデータを集計したものとなっており、過去の数値と単純比較することはできない。